

しもさかもとようちえんだより

令和7年5月
大津市立下阪本幼稚園



子どもたちは園生活に慣れてきて、伸び伸びと遊んでいます。

入園後の3歳児も毎日とっても楽しそうで、泣き声はほぼ聞こえてきません。先生の話をよく聞いて、元気に歌ったり踊ったりしています。転入園児も、「この幼稚園に来てよかった！こんな遊びしたことがない！」と喜んでくれています。

教育目標

- ㊦ なやかな心と体をもつ子ども
- ㊧ くてきをもち 頑張る子ども
- ㊨ さえあい 育ちあう子ども
- ㊩ ながえ 自ら学ぶ子ども

子どもたちの豊かな生活

☆「お芋見つけた！！」

藤棚の下にある砂場で穴を掘っていた4歳児が、藤の根っこを見つけました。「これは、お芋に違いない」と掘り進めていく子どもたちに、周囲の子どもたちも寄ってきます。あきらめずに何日も掘り続けたり、自然に協力し合う姿がとても感動的です。ただ引っ張るだけではなく、お芋（根）の近くの砂を削り始めたり、一人が引っ張り始めるとその腰をもってつながったり、その際には「〇〇さんを△△さんが引っ張って」など声を掛け合うことも楽しくて、一体感を味わっています。いまだ抜けてはいない芋ですが、夢は膨らんでいます



☆ダンゴムシを集めて・・・

プランターの下を探してもいないと分かれば、花壇の中を探し始める子どもたちで、生態をよく分かり始めています。特に3学年が入り混じりながら関わって遊ぶことができるため、年齢問わず、情報の伝達がとても多い遊びです。

ダンゴムシをみつけると「今日はよろしくね」と笑顔で腕に這わしたり大切に持ったりしている4歳児が、お皿にごちそうをつくってその上に乗せています。一つの入れ物にみんなが入れることも楽しいです。居合わせた5歳児がお皿から脱走する虫を戻してあげ「もう少し高い入れ物が」と言って容器の違いをつぶやいたりしています。帰りには、必ず元の場所に親子で返してあげる3歳児もいて、家庭での取組が園生活に循環しています。遊びのなかで、いろいろな子どもたちを通して命に触れ、学び合っています。

